

伯耆ふるさと伝承

～ 出雲の歴史は“大山”から始まった～

1. 海流に乗って文化がやってきた

<天然の良港であった山陰>

- ・ 島根半島は日本海にせり出した半島であり、西端の日御碕灯台、東端の美保関灯台が有名である。そして半島の南側には、宍道湖、中海が広がっており、鳥取県と島根県にまたがる中海圏域観光の中心的な役割を果たしている。現在は、出雲平野が広がり、松江は大橋川、境港は境水道に橋が架かり自由に行き来できるようになっている。
- ・ しかし、太古の昔、島根半島は日本海に浮かぶ大きな島であったと言う。
- ・ 大山王国の運営を手がけている石村氏によると。

☞ 伝承者 石村隆男氏：

- ✓ その昔、島根半島は日本海に浮かぶ細長い防波堤のような島であった。
- ✓ その島が日本海の荒波を防いでくれるため、南側の陸地との間は穏やかな内海となっていた。

- ・ 「国引きの伝説」にもこの状況を物語るくだりがある。出雲風土記に描かれている記述によると。



大山王国 歴史文化 探訪 MAPより

☞ 伝承者 出雲風土記：

- ✓ その昔、島根半島は、四度に分けて土地を引っ張って来たというものである。
  - ✓ 一度目は「志羅紀(新羅)」の余った土地を「佐比売山(三瓶山)」を杭にして「園の長浜」を綱にして「去豆の折絶(平田市小津)」から「八穂爾支豆支(杵築)の御崎(大社町日御碕)」までの国として引っ張ってきた。
  - ✓ 二度目は「北門の狭伎の国(出雲北方の出入口)」の土地を「多久の折絶(八束郡鹿島町)」から「狭田の国(鹿島町佐陀本郷)」まで引いてきた。
  - ✓ 三度目は「北門の良波の国(八束郡島根町野波)」の土地を「宇波の折絶(松江市東北端の手角?)」から「闇見の国(松江市本庄町新庄)」まで引いてきた。
  - ✓ そして四度目に「高志(越)の都都の三崎(能登半島の北端珠洲岬?)」の余った土地を引っ張ってきたのが「三穂の埼(美保関町)」で、この時の綱が「夜見嶋(境港市付近にあった島)」打ち込んだ杭は「伯耆國の火神岳(大山)」であった。
- ・ 当時は、弓ヶ浜もなく境港市の辺りに「夜見の島」という島があったようだ。現在の地形とはかなり異なっていた。
  - ・ 朝鮮半島の方から島根半島の沖に流れ込む海流がある。その海流の一部が島根半島によって流れが変わり、赤崎沖の方へ流れ込む。そして渦を巻くようにして夜見の島の辺りまで流れているという。この流れが後に弓ヶ浜をつくる大きな力となるのである。
  - ・ 確かにこの辺の海岸では、ハングルの入ったゴミがたくさん落ちている。

< 地元に根付いた大陸文化 >

- ・ この地方には、多くの大陸文化の痕跡が残っている。島根半島の北側にある<sup>うづぶるい</sup>十六島、大山町にある孝霊（高麗）山、淀江町から出土した石馬などである。
- ・ 大神山神社の宮司を努める相見氏によると。
  - ☑ 伝承者 相見行佳氏
    - ✓ 島根半島には、新羅の国王をお祀りした神社が残されているという。
    - ✓ 百濟、新羅からの渡来人が多い。特に百濟からは国を挙げ移住している。
- ・ また、大山寺宝物館の名誉館長である杉本氏によると。
  - ☑ 伝承者 杉本良巳氏：
    - ✓ 確証はないが「淀江」の語源も「ヨダ（豊かな）」という意味の韓国語から来ているのではないかと語る。
- ・ そして、最も大きな痕跡が妻木晩田遺跡、上淀廃寺に見ることができるのではないだろうか。近年、山陰地方では古代史にまつわる歴史的な発見が多くなされている。
- ・ 荒神谷遺跡から始まり、加茂岩倉遺跡、青谷上寺地遺跡、そして妻木晩田遺跡と続いたこれらの発見は、今まで日本書紀や古事記にでてくる出雲神話は、「全くの作り話」といわれてきた常識を根底から覆すような大発見である。
- ・ いずれにしても弥生時代には、日本最大級の集落がこの山陰にあったことは動かせない事実である。今でいえば、東京、大阪クラスの都市がこの山陰にあったということになり、少し考えただけでもワクワクしてくる。

< 大陸文化はどうやってきたのだろう >

- ・ 数々の痕跡を残している大陸の文化が、どのような経路でこの山陰にたどりついたのであろうか。
  - ☑ 伝承者 杉本良巳氏：
    - ✓ 当時の大陸文化を受け入れる表玄関は九州であっただろう。
    - ✓ しかし、この山陰地方にも大陸から直接やってきて、文化を伝えた人たちもいた。特筆すべきことは、この山陰地方には九州経由で入ってきた大陸文化と、直接入って来た大陸文化が混じり合い、独特の文化を形成していることである。
    - ✓ 「国譲り伝説」について、はじめに渡ってきた渡来人の文化と、後から渡ってきた渡来人の文化がぶつかり合い。後から来た渡来人が、文化的に優れていたため国を譲ったのではないかと語る。
- ・ 「国譲りの伝説」については、いろいろな見方がある。
  - ☑ 伝承者 相見行佳氏：
    - ✓ 出雲に伝わった大陸の文化は、農耕、医療、航海術に長けた文化であり、広く民衆に支持された。しかし、争いを好まず平和的な手段により国を譲ったのだと語る。